

第2学年社会科（歴史的分野）学習指導案

令和8年1月30日（金）第5校時

1 小单元名 開国と近代日本の歩み 2 節 欧米の進出と日本の開国

2 小单元について

（1）教材観

本单元は、中学校学習指導要領解説（平成29年告示）歴史的分野・内容C（1）に以下のように位置付けられているものである。

（1）近代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

（ア）欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解すること。

（イ）開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解すること。

（略）

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

（ア）工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの（ア）から（カ）までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。

（イ）近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。

今回授業で取り扱う欧米の進出と日本の開国については、小学校ではペリー、勝海舟、西郷隆盛などの人物を取り上げ、ペリー来航をきっかけにして開国をしたこと、江戸幕府の政権返上に伴い勝海舟と西郷隆盛の話し合いにより江戸城の明け渡しが行われたことなどを学習している。一方で、ペリー来航の背景となる欧米のアジア進出やその背景、来航による政治的及び社会的な影響については、生徒にとっては初めて学習する内容となる。そのことを踏まえ、欧米諸国で起こった産業革命や市民革命の動き、隣国の清で起こったアヘン戦争をしっかりと押さえて学習を進める。また、世界の歴史が日本の歴史に大きく影響を与えていることを意識させるためにも、その出来事が生じた理由や背景などをしっかりと押さえながら学習を進めていく。

(2) 生徒観

生徒観については、当日配布いたします。

(3) 指導観

①内容や時間のまとまりを見通した授業展開・課題設定の工夫

歴史的分野の学習においては、授業で取り扱う事項も多いため、出来事の説明が多くなり、講義形式の授業になりがちである。そのため、生徒にとっては覚えなければいけないことが多く、苦手意識をもつことにつながっていると考えられる。そこで、指導にあたっては、単純な知識の暗記とならないように、それぞれの出来事が生じた理由や背景を考えさせ、歴史的な出来事のつながりを意識することができるよう工夫していく。また、生徒が主体的に追究して授業を進めることができるように、単元や小単元を貫く課題を設定していく。本単元では、「近代化によって、日本の国家や社会はどのように変化したのでしょうか」という単元を貫く問い（探究課題）を設定することで、変化に着目して考えさせる。また、「欧米とアジアの関係が変化する中で、なぜ江戸幕府はほろんだのでしょうか」という本小単元における問いを設定することで、世界の歴史が日本の歴史に大きな影響を与えていることを意識させる。

②主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICTの効果的な活用

グループ活動においては「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように、資料提示や協働的に活動する場面において、ICTを効果的に活用できるように工夫していく。本市では1人1台タブレット端末が貸与されており、学習アプリ「ロイロノート・スクール」を活用している。資料の提示や配付の際はロイロノート・スクールを経由して効率よく進める。また、協働的に活動する場面では、「共有ノート」の機能を活用することで、1つの資料を基にグループ内で議論が効率よく進められるように工夫していく。

3 単元の目標と評価規準

(1) 目標

- ・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。
- ・開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化したことを理解する。
- ・工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・近代の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・欧米の進出と日本の開国について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ・開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化したことを理解している。	・工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近代の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・欧米の進出と日本の開国について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

4 小単元の指導計画・評価計画（4時間）

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

時	学習活動等	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
	【小単元の問い】 欧米とアジアの関係が変化する中で、なぜ江戸幕府はほろんだのでしょうか				
1	欧米のアジア侵略 課題 欧米とアジアの関係はどのように変化したか。関係の変化によりアジアはどうなったのだろうか。 ・高杉晋作の日記から当時の清の状況を読み取り、なぜイギリスの支配が進んだのか確認する。 ・アヘン戦争の結果、欧米諸国とアジアの関係がどのように変化したか考える。	○	●		○イギリスのアジア進出によって起こったアヘン戦争やインドの大反乱を理解している。(テスト) ●欧米諸国のアジア進出の理由と背景や、アジア諸国の対応と変化を考察し、表現している。(ワークシート)
2 本時	開国と不平等条約① 課題 ペリー来航により、日本にどのような影響があったか、3つの立場から考えよう。 ・3つのグループに分かれて、資料を根拠に開国した理由や外交関係、国内への影響について考える。		○	●	○資料を根拠に考えをまとめ、江戸幕府が開国した理由や欧米諸国と結んだ外交関係、政治的及び社会的影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。(ワークシート)

					●エキスパート活動で自分の役割を理解し、グループでの話合いに積極的に参加し、欧米の進出と日本の開国について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題について関心をもって自分の考えをまとめている。(観察)
3	開国と不平等条約② 課題 ペリー来航により、日本にどのような影響があったか、開国した理由や外交関係、国内への影響に着目して確認しよう。 日本が開国したきっかけや欧米諸国と結んだ条約の内容、国内に与えた影響(尊皇攘夷運動や貿易後の様子)などをまとめる。	○			○江戸幕府が開国した理由や欧米諸国と結んだ外交関係、政治的及び社会的影響について理解している。(テスト)
4	江戸幕府の滅亡 課題 大政奉還が行われ江戸幕府がほろぶまで、どのような動きがあったでしょう。 倒幕への動きや幕府の対応、外国の動きから、江戸幕府の滅亡までの経緯をまとめる。	○	●		○大政奉還が行われ、江戸幕府が滅ぶまでに起こった主な出来事を理解している。(テスト) ●薩摩藩や長州藩、会津藩の動きと幕府政治の推移、開国による人々の生活の変化を考察し、表現している。(ワークシート)

5 本時の学習指導（本時 2 / 4）

（1）目標

- 資料を根拠に考えをまとめ、江戸幕府が開国した理由や欧米諸国と結んだ外交関係、政治的及び社会的影響について、多面的・多角的に考察し、表現する。
- エキスパート活動で自分の役割を理解し、グループでの話合いに積極的に参加し、欧米の進出と日本の開国について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題について関心をもって自分の考えをまとめる。

(2) 展開

学習活動等	・指導上の留意点 評価 〈方法〉	資料等	時間
1 ペリー来航について概要を確認し、本時の課題を確認する。	・映像資料やペリーの人物画や上陸の様子などを提示し、ペリー来航の様子をイメージさせる。	資料 ・映像資料 ・ペリーの肖像画 ・ペリーの上陸の様子	5
【課題】 ペリー来航により、日本にどのような影響があったのか、3つの立場から考えよう。			
2 3つのグループに分かれてエキスパート活動を行い、資料を根拠にグループで協力しながら課題に対する考えをまとめる。 〈3つの立場と資料例〉 ①幕府の立場 ・日米和親条約の一部 ・開国・通商をめぐる意見 ②民衆の立場 ・輸出入品のグラフ ・物価上昇の浮世絵 ③国際的な日本の立場 ・日米修好通商条約の一部 ・欧米と結んだ条約一覧	・エキスパート活動後にホームグループで学んだ内容を説明し合うことを伝え、見通しをもって活動に取り組ませる。 ・ロイロノート・スクールの共有ノートを活用して、協力して課題に取り組ませる。 評 エキスパート活動で自分の役割を理解し、グループでの話し合いに積極的に参加し、欧米の進出と日本の開国について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題について関心をもって自分の考えをまとめている。【主体的に学習に取り組む態度】〈観察〉 ⇒活動が難しい生徒には、着目するポイントや説明をヒントに考えるように促す。	資料 ・日米和親条約の一部 ・開国・通商をめぐる意見 ・輸出入品のグラフ ・物価上昇の浮世絵 ・日米修好通商条約の一部 ・欧米と結んだ条約一覧	20
3 エキスパート活動で学んだ内容をホームグループで共有する。	・各グループの説明がスムーズに進行するように、資料を読み取る視点や伝えてほしいポイントを補足する。		10

4	本時の課題に対して、どのような影響があったのか、3つの立場に沿ってグループでまとめる。	・自分の担当した立場を中心に、それ以外の立場についても意見を出し合いまとめられるように机間指導を行う。 評 資料を根拠に考えをまとめ、江戸幕府が開国した理由や欧米諸国と結んだ外交関係、政治的及び社会的影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。【思考・判断・表現】〈ワークシート〉 ⇒記入が難しい生徒には、自分が担当した立場について、ワークシートのキーワードを使って記入できるように促す。	5
5	グループでまとめた内容をいくつかのグループが発表する。	まとめ（例） ・ペリー来航による対応をめぐって、大名間で様々な意見がもたれ、幕府の立場が弱まることにつながった。 ・貿易の開始により、物価の上昇や国内で品不足が起こり、民衆の生活は苦しくなった。 ・欧米諸国と結んだ条約は、日本にとって不平等な内容を含むものであり、欧米諸国と比べ、日本の国際的な立場は弱かった。 ・ペリー来航の結果、この後の政治はどう進んでいくのか、次回へのつながりを意識させる。 ・学習前後の考え方の変容を実感させる。	5
6	本時の学習の振り返りを行う。	振り返り（例） ・ペリー来航によって、開国することになったことは知っていたが、その影響で幕府の力が弱まったり、民衆の生活も苦しくなっていたりしたことが分かった。欧米と対等な関係を築けなかったことは、この後の明治維新にも大きな影響を与えていたと感じる。	5

6 板書計画

課題 ペリー来航により、日本にどのような影響があったのか、3つの立場から考えよう。

1853 年 〈3つの立場からその影響を考える〉

ペリー来航

ペリー
肖像画



①**幕府の立場**

…幕府はどのように対応したか。

その結果幕府の力はどうなったか。

②**民衆の立場**

…民衆の生活には

どのような影響があったのか。

③**国際的な日本の立場**

…欧米諸国と日本では

どのような関係が築かれたのか。

まとめ

- ・ペリー来航による対応をめぐって、大名間で様々な意見がもたれ、幕府の立場が弱まることにつながった。
- ・貿易の開始により、物価の上昇や国内で品不足が起こり、民衆の生活は苦しくなった。
- ・欧米諸国と結んだ条約は、日本にとって不平等な内容を含むものであり、欧米諸国と比べ、日本の国際的な立場は弱かった。